

WHO ファクトシート

喘息

Asthma

2017 年 4 月

重要な事実

- ・喘息は、主要非感染性疾患のひとつである。喘息は、肺への気道が炎症や狭窄を起こす慢性疾患である。
- ・現在約 2 億 3500 万人が喘息を患っている。喘息は子どもたちの間では一般的な疾病のひとつである。
- ・喘息に関連した死亡の大多数は、低所得国及び下位中所得国で発生している。
- ・2016 年 12 月に発表された WHO の最新推計によれば、2015 年に喘息によって 383000 人が死亡している。
- ・喘息が発症する最大のリスク要因は、アレルギー反応を引き起こしたり気道を刺激するような粒子や物質を吸い込むことである。
- ・喘息は治療によりコントロールできる。喘息を引き起こす要因を避けることで重症度を減じることができる。
- ・喘息の適切なコントロールによって、人々は質の良い生活を送ることができる。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Asthma ファクトシート原文は [こちら](#)